

川口市各種検診を予約される方へ

※受診券(はがき)、診察券をお持ちの方は、電話をされる際にご用意ください。

予約専用電話番号 (乳がん検診を除く)

048-252-4280

受付曜日/月曜～金曜(休診日を除く)

受付時間/9:00～16:00

受付期間/2023年5月1日～2024年2月15日

検診内容	対象年齢	検診費用
大腸がん	40歳以上	500円
★便潜血検査(2日分) ※事前にお渡ししてある便検体(必ず2日分)を、当日お持ち下さい。		
肺がん・結核	40歳以上	500円
★問診・胸部レントゲン検査 ※50歳以上で喫煙指数(本数/日×年数)が600以上の方は、喀痰検査が受けられます。(喀痰検査を受けられる方は、容器代として別途300円がかかります)		
胃がん(胃内視鏡)	50歳以上 ※2年に1度	2,000円
★胃内視鏡検査 ※鼻からの胃カメラ・口からの胃カメラ選択できます。		
肝炎	20歳以上で今までに受けたことがない方	自己負担なし
★血液検査(B型肝炎ウイルス検査・C型肝炎ウイルス検査)		
特定健康診査	川口市国民健康保険に加入している40歳～74歳の方	自己負担なし
★血液検査、尿検査、心電図検査等		

乳がん検診専用電話番号

048-229-0707

受付曜日/月曜～土曜(休診日を除く)

受付時間/9:00～16:00(平日)
9:00～13:00(土曜)

受付期間/2023年5月1日～2024年2月29日

検診内容	対象年齢	検診費用
乳がん	40歳以上 ※2年に1度	1,000円
★問診・視触診・マンモグラフィー検査 ※41歳はクーポン券対象者(無料) クーポン有効期間2023年6月1日～2024年2月29日。 クーポン券対象者は例外で2年連続であっても受診できます。 視触診検査のみの実施の場合は、クーポン券使用不可。(自己負担1,000円徴収)		

電話が大変混み合っております。予約をされる方には、大変ご迷惑をおかけして申し訳ございません。また、病気で受診される患者様が優先となる場合がございます。ご理解いただけますようお願い致します。令和6年度の検診については、詳細が分かり次第当院ホームページに掲載いたします。



交通

- 徒歩の場合 : JR京浜東北線「川口駅」下車徒歩15分
又は、埼玉高速鉄道「川口元郷駅」下車 徒歩7分
- バスの場合 : 「川口駅」東口バス停11番・12番・14番乗場
(国際興業バス・東武バス)のいずれかに乗車[約5分]
「川口工業総合病院」下車



医療法人 新青会
川口工業総合病院
KAWAGUCHI KOGYO GENERAL HOSPITAL

〒332-0031 埼玉県川口市青木1-18-15
TEL:048-252-4873 FAX:048-252-4865
<http://www.kogyohsp.gr.jp>



医療法人新青会 川口工業病院
乳腺外科診療所

〒332-0031 埼玉県川口市青木1-18-21 1・2F
TEL:048-229-0707 FAX:048-251-1011
<http://breast.kogyohsp.gr.jp>



かわこ

新春号

2024
New Year

医療法人新青会 川口工業総合病院 広報誌 Vol.29



目次

CONTENTS

- 院長のご挨拶…………… P2
- 自然災害に対する想定
水害発生時の防災訓練…………… P3
- 事業所自衛消防隊訓練発表会
Focus -リハビリテーション科-…………… P4
～日常生活をともに取り戻す～
- リハビリテーション科医師と…………… P5
アスレチックトレーナーの紹介
- 測定器具の紹介
- 川口市制施行90周年記念式典…………… P6
- 「第42回たたら祭り」に参加しました
- かわこ～グルメさんぽ…………… P7
～町中華特集～美華楼・琉菊
- 検診のご案内…………… P8

X (旧Twitter)

@Kogyoinfo



川口工業総合病院 /
公式SNS 情報発信中

川口工業総合病院からの最新情報や
地域活動のご紹介、時節の話題など
いち早く発信させていただきます!!

LINE
公式アカウント

川口工業総合病院



院長のご挨拶

新しい年を何事もなく迎えられたことは嬉しい限りです。昨今の世界情勢（世界で起きている紛争など）は地政学的リスクを考慮すると他人事ではなく、経済的リスクもいつ起きてもお不思議ではないと思うと、普段から備えておくことが必要になります。病院でのリスクは経営的な問題もさることながら予期せぬ災害に対応することです。

2020年1月から拡大した新型コロナウイルス感染症は、パンデミックを起こし、自然災害とも言える事態となりました。突然の感染拡大で、有効な予防法や治療薬もない状態の中、生活が制限される非常事態となり、混乱の極みでした。当院は感染拡大早期から埼玉県との協議の上、感染対策病棟を確保し、この未曾有の事態に立ち向かいました。

こういった災害時の対応に必要なことは、司令塔を確立し、そのもとでスタッフがチームを組んで対処することです。当然スタッフも自分の健康が第一ですから不協和音が生じます。それでも治療は続けなければなりません。そこにはプロとしての自覚や矜持が大事となります。まさに当院はプロとしてこの最悪な事態をスタッフの犠牲を出さずに乗り越えました。

今回は感染症という自然災害でしたが、今後も地震や気候変動、水害などで予期せぬことが起こらないとも限りません。予期せぬことにも対応できるように今回の経験を活かして、何があってもこの地域の医療を絶やさないように当院は努力を続けてまいります。



医療法人新青会
川口工業総合病院
理事長・院長
馬場 俊也



自然災害に対する想定

当 院も被災した東日本大震災から今年で13年となります。当時は1971年に建てられた旧病院での被災ということもあり、地域の皆様には倒壊などのご心配をおかけしました。幸い、院内の一部のヒビ程度の被災で済みました。しかし、その後計画停電対象地域となったことで、当時ご通院・ご入院されていた患者さんにはご不便、ご迷惑をおかけしたことをよく覚えております。以来、当院は大きな自然災害にはみまわれておりません。

しかし、近年全国的に夏の大雨による水害の発生も多く報道されています。専門家からは、温暖化などの気候

変動により、水害・土砂災害は今後も増加するという予想も出されました。当院を含めた川口市南部地域は荒川洪水ハザードマップ上、ブルーの区域です。近隣の電柱に注目すると、ハザードの看板と浸水指標の赤いテープが巻かれていることに気づきます。青木一丁目は3.0m~5.0mの浸水が予想されており、高さにすると当院2階までは浸水・水没する想定です。2019年10月に発生した台風19号の影響で荒川の水位は急増、一部堤防が決壊し下流域の様相は一変したことは記憶に新しいでしょう。この事例をきっかけに、当院では荒川・芝川の河川氾濫に備えた避難訓練を実施しております。

事業所自衛消防隊訓練発表会

2023年9月29日に第46回事業所自衛消防隊訓練発表会が川口オートレース場駐車場にて開催され、「消火器・補助散水栓の部」に本院職員4名が病院を代表して参加してまいりました。

本大会は昨年度まで新型コロナウイルス感染拡大にともない中止となっていたため、今回3年ぶりの開催となりました。川口市内にある企業、工場、病院などの15団体が参加し、実際の現場で火事になったことを想定して消火訓練をいたしました。

発表会に先立って9月の3日間に渡り、川口市南消防署にて消火活動の練習を行いました。消防署職員のご指導の下、「節度ある行動」と「迅速な対応」を常に心がけ、大会に向けて懸命に練習いたしました。訓練内容は集団行動、消火活動の2本柱であり、消防士の方々からの本格的なご指導をいただきました。3日間とも天候に恵まれ、酷暑の中でしたが日に日に精度を高めて本番を迎えました。本番当日も練習の成果を発揮することができ、

病院代表として素晴らしい活動をすることができました。大会後に川口南消防署の署長より感謝の意を伝えられ、我々職員も誇らしい気持ちになりました。

「地域とともに歩む医療」を理念に掲げる本院では、これからも地域の活動に参加してコミュニティを大切にしていきたいと思っております。



水害発生時の防災訓練

前 年度の避難訓練では水害を想定した垂直避難訓練を行い、様々な課題の抽出につながりました。そして今回のテーマは「備蓄食料搬送と災害対策本部の体制確立」です。当院の備蓄食料は道路を挟んだ向かいにある倉庫に備蓄されています。

災害時、特に水害時には浸水が始まる前に可能な限り早く食料を院内に移動させなければいけません。その指示を出すのは災害対策本部ですので、水害時の体制確立や情報収集について見直していく必要がありますこのテーマとなりました。

食料搬送では3日分の食料と水を運びます。男性スタッフ8名で17台の台車を運びますが重くて大きい台車を安全に運ぶのはかなりの重労働だったようです。1時間で搬送終了の計画でしたが想定より時間がかかり、最終的にエレベーターを2台使用し訓練時間内に完了する

ことができました。スタッフの増員や使用するエレベーターの変更、エレベーターを使用する傾合いなどの課題があがりました。

災害対策本部では主に本部の立ち上げと情報収集を行いました。連絡手段、本部で決めるべき事、優先事項など様々な課題があがりました。

参加者の皆様からは今後のマニュアル改訂の参考になるご意見をいただき、実りのある訓練となりました。

当院は指定避難場所ではありません。

災害時にそなえて、お住まいの近隣の避難場所を確認しましょう。



川口市ホームページ
避難場所・避難所一覧

～日常生活をともに取り戻す～

リハビリテーションというと、歩行訓練など機能面の訓練をイメージする方が多いと思います。

リハビリテーションの直接的な目的は運動機能の回復にあります。

日常生活動作(ADL)の改善を図り、最終的にはQOL(生活の質)の向上をめざします。



病気、けが、高齢など何らかの原因で、立ち上がる、歩くなどの動作が不自由になると、ひとりでトイレに行けなくなる、外出ができなくなるなどの不便が生じます。誰しもこれらの動作を、ひとの手を借りずに行いたいと思うことは自然なことであり、日常生活動作の改善はQOL向上の大切な要素になります。

リハビリテーションでは「病気・障害があっても住み慣れた街で自分らしく暮らしたい」というひとりひとりの思いを大切にします。

★当院のリハビリテーション科の紹介

理学療法士 39 名、作業療法士 1 名、言語聴覚士 1 名が在籍しております。

入院中はもちろん、退院後は外来でのフォローアップを行っており、入院患者さんへは主に内科・整形・心機能・脳血管のリハビリを行っています。



一方外来では理学療法士は主に以下のリハビリを行っています。

●運動器リハビリテーション

整形外科疾患、スポーツ障害に対するリハビリテーションを中心に実施しています。前十字靭帯再建は年間100件以上、肩・肘関節疾患の関節鏡視下手術は年間150件以上行っています。術後に関しては外来フォローを含めた充実したリハビリテーションを行っています。

●心大血管リハビリテーション

運動処方、運動指導、栄養指導、薬剤管理などチームでの取り組みを実施しています。院内にCPX完備。心疾患の外来リハビリテーションにも積極的に取り組んでいます。総合内科や神経内科疾患も担当しており、病棟と連携したリスク管理のもとリハビリテーションを行っています。

リハビリテーション科医師と
アスレチックトレーナーの紹介

当院にはリハビリテーション科医師が3名、アスレチックトレーナーが3名在籍しています。

アスレチックトレーナーは日本スポーツ協会の公認資格を持ち、競技に応じたスポーツ復帰のためのトレーニングや、病態に応じたテーピング指導を行っています。

さらに病院外のスポーツ現場への帯同も行い、スポーツ選手のそばで活躍しています。



測定器具の紹介

リハビリ室にはスポーツ復帰を目指す患者さん向けの測定器具があり、患者さんの状態と筋力の数値を合わせたリハビリの効果を見ることができます。

MOTUS BASEBALL
モータス ベースボール

肘関節にセンサー付きのウェアを装着し、投球時の客観的なデータを測定できる機械です。投球動作改善や投球量の管理に活用し、プロ野球の球団でも使われています。

肘関節内側部にかかる最大ストレス、ボールを投げる時の前腕と地面の角度、ボールを投げる時の腕振りのスピード、トップの位置で胸を張った時の肩関節可動域を測定します。

リハビリ前後に測定する事によりリハビリ介入による効果を確認することができます。

筋力測定機器

WBI(体重支持指数)という片足の太ももの筋力で体重を支えられるかどうかの指標を測定します。

膝前十字靭帯損傷や半月板損傷といった膝の症例を中心に、手術前後の筋力評価で使用しています。

※リハビリ、測定の適応につきましては、主治医の診察を受けていただき、必要があれば行いますので、ご希望に添えないこともあります。ご了承ください。



肘関節のサポーターのなかに38mm程のセンサーを装着し、様々なデータを計測します。

MOTUS BASEBALL
モータス ベースボール



筋力測定機器

川口市制施行90周年記念式典

川口市より功績を認められた
本院の医師2名が表彰されました。



川口市は昭和8年4月1日に誕生し、令和5年となる今年、市制施行90周年の節目を迎えました。11月10日には市民相互の一体感を醸成するためとして、記念式典が川口総合文化センター・リリアにて開催されました。式典当日は、市内のさまざまな業種の表彰者が参列し、川口の歴史ムービーや川口市立中学校・高等学校の合唱や演奏で盛り上がりを見せました。先の100周年に向けた、

川口市のさらなる発展を期待しつつ、90周年に相応しい思い出深いセレモニーでした。郷土愛とたゆまぬ努力によって市政の発展に寄与したとして、当院院長・馬場俊也医師と眼科部長・早野悦子医師が表彰状を授与されました。こちらの賞状は、病院内正面玄関より入ってすぐの医師一覧のボード上に掲載しております。ご来院の際はどうぞご覧ください。

第42回 たたら祭り

地域とともに歩む医療を理念に掲げる当院は地域行事へ参加することにも力を入れております。2023年は7月に開催された「第42回 たたら祭り」へ参加しました。地域のみなさんと肩を並べてふれあう貴重な機会です。たたら祭りには当院伝統の法被で川工マークを背負い、院長をはじめ病院の代表として各部署さまざまな職種が集まり58名の参加となりました。



かわこー グルメさんぽ

第3回

当院近隣の美味しい2店舗を実食レポートで紹介！
「安い」「ボリューム感」「メニューが豊富」が魅力な町中華特集です！



① 美華楼
某有名演出家も愛した味

売れ筋トップ3はカレー、炒飯、味噌ラーメンです。この黄色いカレーは懐かしい、まさに「給食で食べた味」。炒飯の上には箸で切れるほろほろの厚切り豚チャーシュー。味噌ラーメンは中華鍋でさっと炒められたたっぷり野菜がトッピングされています。中細ストレートのあっさり麺と濃厚な味噌スープに舌鼓！



美華楼
〒332-0031
埼玉県川口市青木1丁目17-34
[営業時間]
11:00~14:00 / 17:00~19:00
水曜定休



② 琉菊
豊富なメニューについて目移り

14種類から選べる店内限定セットはラーメンまたは野菜炒めに中華定食(メイン、ご飯、漬物)がついて750円です。人気の酢豚セットは外カリ中ふわの揚げ豚と本来の甘みも感じるシャキシャキ野菜が濃い甘酢あんが絡み合います。丁寧に下ごしらえし、サクッと揚げられたトンカツがのったカツカレーもおすすめ！持ち帰りメニューも豊富です、是非今夜の一品に！



琉菊
〒332-0017
埼玉県川口市栄町1丁目13-16
[営業時間]
11:00~20:00
金曜定休

ミエル川口の手前にある琉菊は創業40年超！都内で創業し、川口元郷へ移転しました。店内の壁に貼り付けられた豊富なメニューについて目移りしてしまいます。